

宮崎森林管理署都城支署交渉（全国林野関連労働組合都城支署分会）
議 事 要 旨

1日 時：平成26年11月26日（水）14：00～15：00（60分）

2場 所：宮崎森林管理署都城支署 会議室

3出席者：

宮崎森林管理署都城支署	川畑 充郎	支署長
同	江藤 幸二	総括事務管理官
全国林野関連労働組合都城支署分会	藤田敬一郎	執行委員長
同	外山 三男	副執行委員長
同	谷口 慎吾	書記長
同	坂本 法博	執行委員
同	大石 成人	執行委員
同	江島 昭則	執行委員

4交渉事項

- （1）平成27年度業務に係る労働条件の影響について
- （2）職員の健康安全に係る確保対策について

5議事概要

- （1）平成27年度業務に係る労働条件の影響について

組合）平成27年度の業務について、当支署は九州局内ではトップクラスの業務量であるが、主伐・再造林の推進など各種業務が増加することにより、森林事務所森林官などの勤務条件の悪化が危惧されるがどのように考えているのか。

当局）各種事業を進めるためには健康で明るく災害のない職場づくりが基本であり、27年度も各種事業を進めるに当たっては、安全第一、健康第一で取り組む考えである。

各種請負事業については、早期発注、計画的な発注が必要と考えており、外注できるところは予算の確保に努めるほか、各担当の進捗状況をこまめに把握し、事業の遅れがあるところは、各グループ内又は、署全体で応援態勢を整えるなど職員の勤務条件に影響が小さくなるよう努めて参りたい。

- （2）職員の健康安全に係る確保対策について

組合）今年度は今のところ災害は発生していないが、ゼロ災を継続し災害が発生しないようにするためにどうする考えか。

当局）本年度の健康安全管理計画書等に基づきながら、健康安全管理監督者がリーダーシップを発揮して、職員はもとより請負事業体を含めゼロ災を達成するように、

取り組んでいく考えである。

職員に安全意識が定着するよう、引き続き節目節目で安全指導を繰り返し行い安全確保に努めて参りたい。